

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・経常的事務事業

コード	名称
事業名	2016 任意事業
基本施策	6 高齢者の健やかな生活を支える

担当部課名	地域包括支援センター
作成者氏名	増永由美
連絡先	26-1521

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地域の高齢者	地域の実情に応じ、創意工夫を生かした多様な事業形態が可能である。
本年度事業内容 (事業内容) ア、家族介護支援事業(家族介護支援事業・認知症高齢者見守り事業・家族介護継続支援事業等) イ、地域自立生活支援事業 ウ、成年後見制度利用支援事業 エ、福祉用具・住宅改修支援事業	
開始年度	平成 18 年度
終了年度	平成 年度
根拠法令・要綱等	地域支援事業実施要綱

投入資源

	H18	H19	H20
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	6,780	7,280	7,780
委託料	5,000	5,500	6,000
その他	1,780	1,780	2,500
合計(A+B)	7,500	8,000	8,500
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	4,556	4,860	5,164
地方債			
受益者負担			
その他特財	1,425	1,520	1,615
一般財源	1,519	1,620	1,721
上記①～③に関する特記事項			

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 18 年度	年度
地域自立生活支援事業	回	216(延回数)	
認知症高齢者	件	5	
徘徊高齢者	件	5	
家族介護慰労補助金	件	216(延回数)	
家族介護教室	回	15	
成年後見制度利用支援	件	1	
福祉用具支援	件	300	
住宅改修支援	件	15	
食の自立支援	人	60	
生活管理短期宿泊	日	40	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
家族介護支援	介護方法の指導その他の要介護被保険者を現に介護する者の支援		18年度同様
地域自立生活支援	高齢者の地域における自立した生活を継続させるため実施(派遣事業)	回	216(延回数)

評価	必要性	有効性	効率性
評 価	4	4	4
	地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにする。		
	被保険者及び要介護被保険者を現に介護する者等に対し、地域の実情に応じた必要な支援を行う。		
介護保険事業の運営の安定化及び被保険者の地域における自立した日常生活の支援のために必要。			

総合評価
A